

令和4年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：22026

学校名：屯田西小学校

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ ○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、反復横とび	・握る、投げる、走る力については、学習だけでなく遊びでも培われていると考えられる。敏しょう性を伸ばすことが課題である。
体力・運動能力 ＜女子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、50m走、ソフトボール投げ ○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび	・握る、投げる、走る力は、学習で身に付いている。体の運動性を高めることで、跳躍力も伸ばすことができる考える。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き」と回答する子どもの割合 【全国】男子 67.9%、女子 53.2% 【自校】男子 73.3%、女子 43.6% 「体育授業以外、1週間の総運動時間が60分未満」のほとんど運動をしない子どもの割合 【全国】男子 8.8%、女子 14.5% 【自校】男子 3.4%、女子 5.1%	・全国と比較すると、運動している子どもが多い。今後も運動に親しむことができるよう、少人数でも気軽にできる遊びを紹介していく。
三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組
具体的な取組	【視点】 ○体育では、体ほぐしを兼ねて縄跳びに取り組んでいく。 ○感染予防に配慮した学習の推進 ○ICTの活用により、自分の動きや思いを記録したり、動画や資料を視聴したりする。 【取組】 ○縄跳びを継続して行うことにより、体の運動性や持久力を高める。 ○密になったり、接触したりする活動を避け、子ども同士の間隔をとることができる学習活動を推進する。 ○ICTの活用により、自分の課題を次時につなげたり、保健体育の知識を深めたりする姿を目指す。	【視点】 ○休み時間に、子どもが意欲的に体を動かすための場や用具の設定。 ○感染予防に配慮しながら、クラブ活動を推進。 ○グラウンド改修工事に伴い、体を動かす場の設定。 【取組】 ○休み時間は、サッカーエリア、ボール遊びや鬼ごっこのエリア、竹馬と一輪車のエリアに分け、好きな遊びができる場を設ける。 ○クラブ活動を学年単位で行うことによって、間隔を空けて運動できるようにする。 ○グラウンド改修工事時には、校舎内外の場を柔軟に活用し、計画的に運動機会を設けることを考えていく。
	③健康に関する指導の充実	【視点】 ○けがや熱中症予防について、知識を深める。 ○栄養と成長、健康の関係について考える。 ○外部講師による健康的な生活についての指導 【取組】 ○季節に合わせ、養護教諭からのプリントをもとに保護者、児童にけがの防止や手当の仕方、熱中症の予防策などについて指導していく。 ○栄養士からの資料をもとに、食材に含まれる栄養素がどのようにはたらくのか考えながら給食をとることができるように指導する。 ○携帯電話やゲームの使用時間、使用方法と心の健康の関係や薬物乱用については、外部講師の授業を計画し、専門的な知識と予防策を学べるようにする。
検証の方法	○体育科の評価基準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣調査や体力テストの調査結果等を活用 ○学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の活用	